

数学

関西学院大学 全学日程 [理系] (2/1実施)

<全体分析>

試験時間	90 分	解答問題数	4 題
------	------	-------	-----

解答形式

[1] [2] [3] 空所補充式 [4] 記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

小問を多くして、いろいろな面から学力をはかろうとしている。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]				
(1)	ベクトル	数B	三角形の形状と内積	標準
(2)	数列	数B	数列の和と漸化式	標準
(3)	三角関数	数II	倍角公式と関数の最大・最小	易
[2]	確率	数A	独立試行の確率	標準
[3]	図形と式	数II	定点通過、円と直線の位置関係、2円の位置関係、円束	標準
[4]	微分法・積分法	数III	2曲線が接する条件を求める、面積、回転体の体積	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

6つの分野から多くの小問に分かれて出題されている。

空所補充式の問題も配慮が行き届いており、勉強してきた成果が結果に現れやすい。

「しっかりした方針を立てて、最後まで正確に計算できる」ことを目標にして、どの分野についても確実に解けるようにしよう。